

福生市議会 だより

FUSSA

No.189

発行 福生市議会
平成25年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成25年 第2回定例会

☆福生市営プールの指定管理始まる ☆子ども子育て審議会条例を制定

本会議の経過

平成25年第2回定例会は、6月4日から6月21日まで会期18日間で開催され、17人の議員による一般質問が行われ、条例制定など市長提出議案10件、陳情5件などが審議されました。

▼1日目(4日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定しました。

続いて、全国市議会議長会より表彰された議員へ表彰状の伝達が行われました。その後、5人の

議員が、災害時対応施設並びに新学校給食センターの併用施設について、防災について、中学校給食の実施について、保育行政について、救急医療体制についてなどの一般質問を行いました。

▼2日目(5日)は、6人の議員が、環境行政について、全国学力テストについて、市公式キャラ

クターの活用について、横田基地について、多摩川堤防の自転車歩行者道路の安全確保について、福生ミュージックコレク

▼3日目(6日)は、5人の議員が、建設業職人の労務単価引き上げについて、発達障害について、福祉バスについて、LE

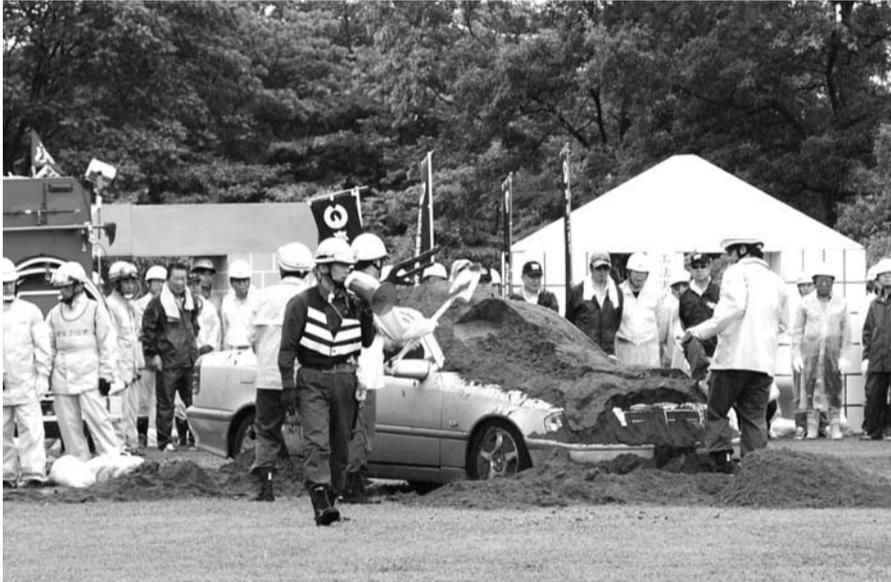
D化の推進について、米軍横田基地についてなどの一般質問を行いました。

▼4日目(7日)は、1人の議員が、女性の体を守る施策についてなどの一般質問を行い、17人の議員の一般質問が終了しました。

続いて、市長から提出された議案の提案理由の説明後、所管の委員会に付託されました。なお、表彰関連の議案5件については、慎重審議の上、即決で同意されました。

▼5日目(21日)は、最終日で、委員会へ付託された議案5件を可決し、新たに提出された陳情3件については、委員会において結論が出され、委員長より報告の後、3件とも不採択となりました。

また、継続審査となっていた陳情2件については、引き続き継続して審査することとなり、今定例会を終了しました。



▲福生市・福生消防署合同水防訓練の様子(25.6.16)

「議会日誌」

29日	28日	24日	23日	22日	16日	14日	9日	8日	▼5月	26日	25日	24日	19日	16日	15日	9日	▼4月	▼6月	30日	
議会役員会・通常総会	議月出納検査	議月出納検査	議月出納検査	議月出納検査	定期監査・行政監査															
東京都三多摩地区消防運営協議会役員会																				

指定管理者制度とは

市が指定した民間事業者や団体等に、公の施設^(※)の管理を委ねることができる制度です。

多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、民間のアイデアやノウハウを活用し、より一層の市民サービスの向上やコストの節減等を図ることを目的としています。

(※)公の施設：市民の福祉を増進する目的で、その利用に供するために設置された市の施設。体育館、プール、市民会館、児童館など)

主な内容

可決された案件	2面
一般質問	3~6面
委員会の審査	7面
特別委員会活動	8面

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ◇賛成多数

◎福生市新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴い、新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされた場合に、市長が設置する福生市新型インフルエンザ等対策本部に必要事項を定めようとするもので、対策本部条例は安全安心まちづくり課が、行動計画作成は健康課が担当する。

◎福生市子ども・子育て審議会条例

福生市次世代育成支援行動計画が平成26年度に期間満了を迎えることから、昨年8月の子ども・子育て支援法の施行に伴い、子どもに関する施策について調査、審議する機関を設置しようとするもの。

▽平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)

市内小・中学校が東京都の委託事業の推進に指定されたこと、町会等会館建設費補助金に対して助成金が交付される見込みとなっ

たことなどに伴い、既

決予算の総額に歳入歳出それぞれ4633万1千円を追加し、総額を217億7633万1千円と定めようとするもの。歳入のうち、都補助金2500万8千円は、高齢者の振り込み詐欺被害防止対策及び悪質商法詐欺被害防止対策事業に対する交付金、ガードレール改良工事に対し交付される土木補助事業補助金等で、雑入1538万2千円は、町会等会館建設費に対するユニティ助成事業助成金等である。歳出のうち、消費者啓発事業委託料2193万4千円は振り込み詐欺等の消費者啓発に、市道改良事業費の工事請負費2400万円は市道138号線の改良工事に充てるもの。

◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

教育委員会委員として12年の長きにわたり市の発展に貢献された長谷川貞夫氏を自治功労表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

選挙管理委員会委員として12年の長きにわたり市の発展に貢献された細谷弘一氏を自治功労表彰するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

副市長及び助役として通算8年の長きにわたり市の発展に貢献された坂本昭氏を自治功労表彰するもの。

◎福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

教育長として12年の長きにわたり市の発展に貢献された宮城眞一氏を自治功労表彰するもの。

た河野紹芳氏、防災会議委員として多年にわたり市の行政に貢献された宮川榮次氏、交通安全推進委員会委員として多年にわたり市の行政に貢献された乙津慎一氏、明るい選挙推進委員として多年にわたり市の行政に貢献された今野多美子氏、保護司として多年にわたり市の行政に貢献された島田晏治氏、公民館運営審議会委員及び青少年問題協議会委員として多年にわたり市の行政に貢献された高水清安氏、消防団員として多年にわたり市の行政に貢献された、現在もなお御活躍の高野恒行氏、降駒春徳氏、久下和春氏を一般表彰するもの。

と管理する必要がないことから、隣接地所有者からの申し出を受け、全部廃止して払い下げ及び市道部分に存する隣地土地所有者の土地と交換をするもの。

陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となった陳情は次のとおりです。

◆不採択

○行政手続条例と契約事務規則の関係説明を求める陳情書(25・4号)

(不採択理由) 用語の定義上の解釈の問題であり、判例も示されているため、議会で審査する内容ではなく、意に沿いがたい。

○「議員の紹介」の解明を求める陳情書(25・5号)

(不採択理由) 議員の紹介がなくても、陳情書として取り扱い、請願書と同様に審査をしており、意に添いがたい。

○昭和39年最高裁判例の誤読と準備行為論の克服を求める請願書(本件は、紹介議員がいなかったため、福生市議会会議規則第144条の規定により、陳情書としての取り扱いとする。)(25・6号)

(不採択理由) 判例については、変更を求めることは、司法の問題であり、議会で審査する内容ではなく、意に沿いがたい。

◎市道路線の廃止について

市道第1023号線は現在、一般交通の用に供されておらず市道

討論

●平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)

■反対

今回の補正予算に含まれる生活保護システム改良委託料は、生活扶助基準の引き下げを実行するものである。これは、生活保護家庭、特に、子育て世代を直撃する。食生活の質の低下、健康や発達への深刻な影響も危惧される。さらに、生活扶助基準の引き下げは、福生市においても、就学援助や保育料など、54件もの施策の引き下げにつながり、生活保護家庭ばかりでなく、低所得層全般に影響するものである。アベノミクスの下で、大企業が260兆円もの内部留保金を蓄積する一方、年収200万円以下のワーキングプア(働く貧困層)が1100万人にも達している。国民の所得を奪う政治から、国民の所得を増やす政治へ、国の所得を増やす政治へ、新規事業展開のための予算、振り込み詐欺被害ゼロを目指して全ての高齢者宅を訪問して啓発を進めると必要かつ重要な予算が計上されている。そして、生活保護システム改良委託料は、国の社会保障審議会生活扶助基準部会において生活扶助基準の検証がなされ、基準の見直しとなったことに伴うものであり、賛成する。

■賛成

今回の補正予算は、国の社会保障審議会生活扶助基準部会において生活扶助基準の検証がなされ、基準の見直しとなったことに伴うものであり、賛成する。

請願及び陳情の提出方法

市議会は、市政等に対する皆様の要望を「請願」や「陳情」としていつでも受け付けています。9月定例会では、8月30日までに提出された請願・陳情を審査します。

◎請願

市議会議員の紹介が必要です。議会に出された請願は、所管の委員会に付託の上、審査されたのち、本会議で採択・不採択が決められます。採択された請願は関係者(市長、その他関係機関等)に送付します。

◎陳情

市議会議員の紹介は必要ありません。市議会における審議等の扱いは、請願と同様です。

◎請願(陳情)の書き方

- ①題名
- ②紹介議員の署名(陳情書の場合は不要)
- ③請願(陳情)趣旨
- ④請願(陳情)事項
- ⑤提出年月日
- ⑥あて先(福生市議会議員)
- ⑦請願(陳情)者の住所、氏名、押印

※請願及び陳情は郵送ではなく持参してください。

〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 _____

請願(陳情)趣旨 _____

請願(陳情)事項

1. _____

2. _____

平成 年 月 日

福生市議会議員 _____ 様

請願(陳情)者 _____ 様

住所 _____

氏名 _____

※陳情書には紹介議員の記載は不要です

子ども・子育て支援新制度について

田村 正秋 議員

質問 子ども・子育て支援事業計画の内容や子育て会議の役割、幼稚園、保育園の保育料の設定のあり方や無償化の動きについて伺いたい。

市長 この計画は、市内を幾つかの区域に分け、区域ごとに新制度の給付、事業の需要の見込み量、提供体制の確保、実施時期等を盛り込むものであり、子育て会議は、この計画に地域の子育てニーズを反映させる等の重要な役割を期待されている。幼稚園、保育所等の保育料は、公定

価格を国が定める。幼稚園、保育所等の保育料の無償化は、今後の国の動向を見守りたい。



▲子ども・子育て支援新制度リーフレット
(内閣府・文部科学省・厚生労働省発行)

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、17人の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。

詳しくは、8月中旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

救急搬送における傷病者の受け入れについて

柳川 英司 議員

質問 救急搬送の受け入れ拒否やたらい回しの問題について、安全安心まちづくりの観点から、医療機関と救急隊だけの問題にせず、行政や市民も含めて取り組む必要性を感じるが、セーフティーネットでもある救急医療体制について伺いたい。

市長 東京都は、救急患者が迅速に医療を受けられるよう、救急医療の東京ルールを策定し、医療圏域ごとに地域救急医療センターを整備して受け入れ先の調整を行っている。

西多摩地域では、福生市内の目白第二病院が地域救急医療センターに指定されている。



▲救急搬送に備える救急車

中学校給食について検討を

末次 和夫 議員

質問 中学校の昼食対策として、現在のランチルームによる弁当併用方式は一定の成果を上げていると評価できるが、給食センターの新設が具体化した現在、今後の望ましい福生の中学生の昼食のあり方について、給食の実地を含め、もう一度検討すべきではないか。

教育長 中学校給食については、市民や市議会の各会派からの要望も出ているところであり、新給食センターの建設に向けての会議の中で検

討を行いたい。その際、現在、昼食対策として実施しているランチルームの検証もあわせて行いたい。



▲第一給食センター調理場の様子

福生水辺の楽校運営協議会の環境大臣表彰について

串田 金八 議員

質問 福生水辺の楽校運営協議会が、平成25年度みどりの日自然環境功労者環境大臣表彰の自然ふれあい部門で表彰されたとのことだが、その活動や功績について伺いたい。

市長 水辺の楽校は、自然体験学習を行う「多摩川で遊ぼう!」、ボランティア養成講座である「多摩川サポーターズ」、水辺の楽校の拠点施設「川の志民館」の管理運営の3つの事業を主に行っている。運営協議会は、子どもを対象とした環境学

習事業に取り組むなど、自然とのふれあいや普及啓発活動に尽力した功績で、今回受賞したものである。



▲水辺の楽校「いかだで冒険、多摩川で泳ぐ」の様子

田園地区の水害対策について

町田 成司 議員

質問 陸橋通り下にある南公園と南田園1丁目地区の住宅地を結んでいるトンネルに設置された水害防護壁の現状について伺いたい。

市長 水害防護壁は、200年に1度の割合で発生すると予測される大雨により多摩川の増水が見込まれる際、職員が事前に設営し、南田園1丁目地内への浸水を予防しようとするもので、設置に1時間程度要するが、予め気象情報により予防的に設置しており問題ない。過去に設置した例

は、平成19年の南公園が冠水した時だけで、その時も水害防護壁のところまで水位の上昇はなかった。



▲水害防護壁設置の様子

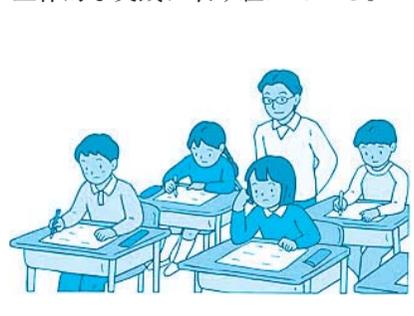
全国学力テスト結果の本市における取り扱い

杉山 行男 議員

質問 全国学力テスト結果について、相対的などころを広く公表し、保護者、地域の人々に現状を知っていただくことも大切なことではないかと思うが、相対的な結果の公表と対応、公開について伺いたい。

教育長 本テストの結果について、本市では教育委員会定例会にて、本市としての総合的なデータを示しており、個々の学校名を明らかにした公表は行っていないが、各学校では、個人票を児童・生徒に返却する際、

各自の課題等を明らかにし、その後の学習改善に生かせるよう工夫し、主体的な実践に取り組んでいる。



食育教育の観点から中学校給食の検討を

池田 公三 議員

質問 「中学校給食の検討を開始する」という回答を歓迎する。38年にも及ぶ市民の願いであり、東京26市の中で、最も遅れてスタートするのだから、他市もうらやむような最も優れた内容にしてほしい。そのためにも、中学校給食を単なる昼食対策としてではなく、食育基本法と学校給食法に則り、食育教育としての観点から、福生市の中学校給食について検討していくべきと思うがいかがか。

教育次長 食育教育の観点も含めて検討していきたい。



▲小学校での食育授業の風景

福生ミュージックコレクション事業の概要について

武藤 政義 議員

質問 福生市民会館の事業で、まだあまり認知されていないが、音楽のまち福生という視点から大いに期待される事業である。この事業の概要について伺いたい。

教育長 この事業は平成25年3月に実施したもので、福生市及び福生市周辺にお住まいの歌手や演奏者等のコンサートをシリーズ化し、地域の文化振興を図ることをねらいとしている。コンサートは小ホールで実施し、気軽にお越しいただけるよう、

料金を基本的に全席千円に抑えている。今後も周辺地域のアーティストを発掘していきたい。



▲福生ミュージックコレクションに出演したダイナマイト・ミキさん

福生市公式キャラクター「たっけー☆☆」の活用について

岩崎 百合子 議員

質問 最近、高い経済効果や集客効果から、東京都内でもイメージキャラクターを作る自治体が増えているが、東京では先行している「たっけー☆☆」についてどのような戦略を考えているか。

市長 「たっけー☆☆」はシティセールスの重要なツールであり、積極的な情報発信により知名度を上げる必要がある。多くのイベントに出動したり、特製の名刺を配布してアピールするほか、関連グッズの開発、

販売や、ファンクラブの創設、商標登録を前提としたキャラクターデザインの作成などを考えている。



▲環境フェスティバルでも人気のたっけー☆☆

建設業職人の労務単価を引き上げ、生活現場まで浸透を

堀 雄一朗 議員

質問 国土交通省は公共工事設計労務単価の大幅な引上げを行い、建設業職人の賃金引上げ、社会保険加入徹底を要請している。この働きかけに、市はどう応えるのか。

市長 4月以降の工事の受注者に対し、単価を新労務単価に変更する契約全額変更協議をできることとした。変更契約金額は、新労務単価で積算した予定価格に当初契約の落札率を乗じて算出する。請求期限は契約日から3ヵ月以内とし、受注者に

は技能労務者等の賃金水準の引き上げ、下請企業との請負契約金額の見直し等を求めていくこととする。



▲市内の工事現場の様子

日米友好祭の中止について

清水 義朋 議員

質問 アメリカの財政の崖の影響から、毎年行われている日米友好祭が無期限延期となった旨の報道発表があったが、市への経済的な影響など、市長はどのように考えるか。

市長 昨年9月議会において、周辺商店街への経済効果は約4億8千万円と答弁した。友好祭は騒音の増大にもつながるが、毎年楽しみにしている多くの方や、地元地域のことを考え、防衛省に対し、米軍への友好祭早期開催への働きかけと代替的な

催しについて検討するよう要望した。また、横田基地へ出向き、直接司令官に要望した。



▲昨年の横田基地日米友好祭

発達障害児を早く発見し早く対応する方策は

原田 剛 議員

質問 第1回定例会で、発達障害の傾向にある子どもは早期発見、早期対応が有効との答弁があった。現在どう進めているか伺いたい。

教育長 発達にアンバランスのある子どもは、保護者の理解を前提に診断評価資料を正確に収集し、個別の教育支援計画に生かす必要がある。本年2月に設置した(仮称)福生市特別支援教育センター開設検討委員会で、幼稚園や保育園に臨床心理士を定期派遣することが決まった。5

月以降、月1回程度、就学相談員とともに全園を回り、早期発見・対応及び継続支援に全力を挙げている。



多摩川堤防の自転車歩行者道路の安全確保に向けた取り組み

五十嵐 みさ 議員

質問 この道路は、大変景観もよく、多くの市民が利用しているが、近年、競技用の自転車の往来が増え、歩行者が危険を感じるようになってきている。市は管理者として、市民の安全確保をどのように考え、取り組んでいるか。

市長 堤防上の自転車歩行者道であるため、歩行者と自転車を分離することは難しい。看板や車止めの設置によるスピード抑制対策を実施しているが、十分とは言えない。国土

交通省や福生警察署と協議し、路面表示や注意喚起看板設置などの安全対策を早期に実施したい。



▲多摩川堤防上の自転車歩行者道路(福生団地付近)

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

電話 042-551-1523

○デイジー (DAISY) とは

デジタル録音図書の国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

(利用者一割負担)

ご利用ください「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。

「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像

※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ

(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>) にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

関東航空機空中衝突防止会議について

奥富 喜一 議員

質問 今回開催された関東航空機空中衝突防止会議の内容は。今後、市は会議への参加を求める考えはないか。

市長 横田基地が主催し、横田基地の軍人と日本の軽飛行機操縦士等が横田基地管制空域の運用状況や飛行に関する問題を話し合い、安全飛行についての理解を深めたと聞いている。周辺空域での航空機のニアミスは23年6件、24年4件、25年は今まで1件もなく、この会議の成果と

理解しているところである。
企画財務部長 市は航空行政を担っておらず参加を求める考えはない。



▲横田基地（第5ゲート）

福祉バス利用者の利便性を考えたきめ細かい見直しを

大野 悦子 議員

質問 福祉バスは、交通弱者が市内福祉施設を利用する際の利便性を図るためにある。25年度の見直しの取り組みは進んでいるのか。

市長 福祉バスの本格実施から3年が経過した。今年度は現在の便数や運行経路等を検証する予定である。問題点を把握し、来年度以降の運行方法等を決定していきたい。

福祉保健部長 熊川コースと福生コースの2コース、16便に実際に職員が乗車し、バス停ごとの乗降者数

と運行時間等の実態を調査するほか、利用者の意見も何う形で検証を行う予定である。



▲福祉バスつつじ号（福生コース）

子宮頸がんワクチンの定期接種化をどう受けとめるか

阿南 育子 議員

質問 子宮頸がんワクチンは重篤な副反応例も指摘されている。子宮頸がんの予防には、検診を優先させるべきと考える。病気自体の特徴や検診の重要性も一体化して情報発信すべき。定期接種化され市の責任の重みをどう考えるか。

市長 接種するかしないか、2種のどちらを接種するかは接種希望者が任意で選択する。

市は、万が一の健康被害の重みを認識し、情報提供を含めた接種環境

を一層整えていきたい。



▲子宮頸がん予防ワクチンリーフレット（厚生労働省ホームページより）

照明の一括LED化の機運に遅れてはならない

青海 俊伯 議員

質問 照明のLED化推進は急ぐべきだ。施設改修時や照明灯の取りかえ時の交換では、種々の行政が遅れてくる。市の考えを伺う。

市長 LED化は、二酸化炭素削減、電気料金削減など大きなメリットがある。導入に多額の費用がかかり、方式もさまざまなことから検討を進めてきたが、早期に一括導入することが望ましいとの結論に至った。100ワット以下の道路照明灯全数をLED化すべく、早ければ9月に補

正予算を提出し年度内に完了したい。その他の道路照明灯、公共施設照明も順次導入計画を立て取り組みたい。



▲加美立体通りのLED照明灯

第63回 福生七夕まつり 8/8~8/11



今年も民踊パレードに参加します!



▲昨年の七夕まつり民踊パレード参加風景

次回定例会のお知らせ

平成25年第3回定例会は、9月2日(月)から9月26日(木)までを予定しています。

◆本会議(予定)午前10時開会

9月2日(月)~9月5日(木)及び9月26日(木)

◆決算審査特別委員会(予定)午前9時30分開会

9月9日(月)~9月12日(木)

◆常任委員会(予定)午前10時開会

9月17日(火)~19日(木)

市議会を傍聴してみませんか

本会議・委員会はどなたでも傍聴できます。傍聴の受付は会議の当日、市役所第2棟3階の議会事務局で行っています。

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 末次 和夫 (併用)	1 もくせい会館(商工会館)の改修及びエレベーターの設置について (1)事業計画の進捗状況について (2)事業計画の概要について 2 災害時対応施設並びに新学校給食センターの併用施設について (1)事業計画の概要について (2)事業計画の進捗状況について (3)中学校給食について	⑪ 武藤 政義 (一括)	1 銀座通りのインターロッキングについて (1)施工から現在までの状況について (2)本年度より実施される補修について 2 小・中学校の入学式及び卒業式について (1)教育委員会としての考え方について (2)式典実施に至るまでの過程について 3 福生ミュージックコレクションについて (1)事業の概要について
② 町田 成司 (一問一答)	1 人口減少について (1)空き家調査の実態について (2)人口減少対策を取り扱う部署の移動について 2 防災について (1)田園地区の水害対策について (2)自主防災組織について	⑫ 堀 雄一郎 (併用)	1 建設業職人の労務単価引き上げについて 2 都市基盤整備について (1)文化の森南側から教会前踏切への接続について (2)国道16号武蔵野橋北詰交差点付近の人の流れについて 3 市の技能労務職員について (1)技能労務職の配置と現状について (2)今後について 4 シニア世代の地域活動活性化について
③ 池田 公三 (一問一答)	1 官製ワーキングプアを防ぐために (1)福生市における指定管理委託の影響について (2)福生市の公契約における状況について (3)今こそ、公契約条例制定を 2 中学校給食の実施について (1)今こそ、中学校給食の実施を (2)これからの取り組みについて	⑬ 原田 剛 (併用)	1 交通安全・交通施策について (1)ゾーン30について (2)デマンド交通について (3)高齢者の運転事故と新たな交通施策について 2 定住化に資する子育ての魅力の発信について 3 発達障害について (1)早期発見・早期対応について (2)各部の連携について (3)相談体制について
④ 田村 正秋 (一括)	1 土木行政について (1)公園でのボール使用について (2)公園の使用ルールについて (3)道路におけるベンチの設置について 2 保育行政について (1)子ども・子育て支援新制度について 3 健康ふっさ21について (1)現在の取り組みと活用について	⑭ 大野 悦子 (一括)	1 農業施策について (1)市内農業の現状 (2)市民農園について (3)直売所等について 2 「くるみるふっさ」の事業について (1)カーシェアリング・サイクルシェアリングについて (2)「くるみるふっさ」の情報提供等について 3 福祉バスについて (1)今までの経過と現状について (2)見直しの取り組みについて
⑤ 柳川 英司 (一括)	1 都市計画道路3・4・7号線(富士見通り)の整備について (1)都市計画マスタープランでの位置付けについて (2)関連する産業道路の進捗状況について (3)今後のスケジュールについて 2 救急医療体制について (1)救急搬送の現状について (2)救急搬送における傷病者の受け入れについて	⑮ 青海 俊伯 (一括)	1 中学校昼食対策と学校給食センターについて (1)ランチルームの活用について (2)学校給食センターの進捗管理について (3)中学校給食について 2 所有地、市有地の活用方法について (1)旧市立すみれ保育園敷地の利用について (2)自由広場の今後について (3)所有地の片倉跡地について 3 LED化の推進について
⑥ 串田 金八 (一括)	1 定住化について 2 環境行政について (1)水辺の楽校運営協議会の環境大臣表彰について (2)生物多様性国家戦略に伴う絶滅危惧種などについて	⑯ 奥富 喜一 (一問一答)	1 米軍横田基地について (1)関東航空機空中衝突防止会議について (2)オスプレイを絶対飛来させない対策について 2 生活保護行政等について (1)生活保護制度の実態について (2)マスコミ報道と生活保護制度の理解について (3)生活扶助基準引き下げによる他制度への影響について (4)生活保護基準の引き下げによる負のスパイラルについて (5)生活保護基準引き下げによる子育て世帯への大打撃について (6)生活保護家庭の状況について
⑦ 杉山 行男 (一問一答)	1 小型家電リサイクル法の施行に伴う対応について (1)使用済み小型家電収集のこれまでの取り組みについて (2)レアメタル資源化への取り組みについて (3)これからの取り組みと課題について 2 子宮頸がん予防ワクチンについて (1)実施状況について (2)副作用について 3 全国学力テストについて (1)実施経過と状況について (2)結果の取り扱いと公開について	⑰ 阿南 育子 (併用)	1 女性の体を守る施策について (1)子宮頸がんワクチンの注意について (2)子宮頸がん検診について (3)リプロダクティブヘルス/ライツ(生涯を通じた性と生殖に関する健康とその権利)の推進について 2 教育行政について (1)教育と福祉の連携融合について (2)学校図書室司書について
⑧ 岩崎 百合子 (一括)	1 自殺者対策について 2 市公式キャラクターの活用について (1)経過と現状について (2)これからの戦略について		
⑨ 清水 義朋 (一括)	1 横田基地について (1)米軍横田基地の夜間外出禁止措置について (2)日米友好祭の中止について (3)航空自衛隊横田基地について 2 ジュニアスポーツの振興について (1)中学校の部活動について (2)総合型地域スポーツクラブとジュニアスポーツの育成について		
⑩ 五十嵐 みさ (一括)	1 循環型社会と小型家電リサイクル法について (1)レアメタルの回収について (2)福生市における小型家電リサイクル法の施行について 2 多摩川堤防の自転車歩行者道路の安全確保について (1)市の取り組みについて 3 保健医療体制の充実について (1)特定健康診査の充実・受診率向上策について (2)子宮頸がん検診HPV検査の導入について		

委員会の審査から

建設環境委員会

6月11日に委員会が開催され、議案2件を審査し、原案のとおり可決しました。開会后、市道路線の廃道敷、加美立体通りの工事完了箇所の視察を行いました。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 消費者啓発事業委託料の詳細は。

答 主に2つの事業からなっており、一つは「悪質商法退治たっけー☆☆」にお任せ大作戦」で、市の公式キャラクター「たっけー☆☆」を活用して、市のイベントに参加し消費者問題に関心を持っていただくようなチラシやパンフレットを配布するもの。もう一つは「振り込め詐欺ゼロキャンペーン」で、福生市内でも被害額が増加していること

今定例会の常任委員会では、付託された議案及び陳情と、継続審査となっていた陳情の審査が6月11日、12日、13日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。

議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取り扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

また、横田基地対策特別委員会が6月11日、定住化対策特別委員会が6月12日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

から、高齢者のいる世帯を個別に回り、振り込め詐欺の状況、対策などを丁寧に説明し被害件数をゼロにしたいと考えている。

問 市道第138号線の道路改修について、当初予算に入らなかった理由について。



▲市道路線の廃道敷を視察

問 都市計画マスタープラン変更業務委託料は、福東地区の防災拠点整備に伴う用途地域変更とのことだが、計画されている産業道路、富士見通りについてはどのようなものか。

答 富士見通りについては既存の道路を拡幅する手法で計画しており、現行プランにも入っている。産業道路の延伸について

市民厚生委員会

6月12日に委員会が開催され、議案2件と陳情1件を審査しました。主な内容は次のとおりです。
◎福生市子ども・子育て審議会条例

問 子ども・子育て支援新制度において、市内の認可保育所等が、どのように分類されるのか。

答 市内の認可保育所及び2つの認定こども園、また4つの幼稚園については、特定教育・保育施設となる。また、小規模保育、家庭的保育、居宅型訪問保育、事業者保育については、特定地域型保育事業となるが、現在市内にはない。

問 子ども・子育て支援新制度においてどのようなニーズ調査をするのか。

答 ニーズ調査については、国から7月ごろをめどに基本指針、調査などの内容が示される予定。子ども・子育て支援事業計画は5年間の幼児期の学校教育、保育、地域の子育て支援についての需要計画で、子ども・子育て家庭の現在の利用状況や利用規模を把握して、計画的な整備をするために調査をする。就学前児童世帯1200世帯、就学児童世帯600世帯を対象としている。



▲市内の幼稚園(牛浜幼稚園)

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)

問 生活保護費の生活保護システム改良委託料は、扶助基準の見直しに伴い、どのようなシステム変更を行うか。

答 平成25年8月1日より実施される生活扶助基準の見直しに伴い、生活保護システムの改修が必要になった。

現行の生活扶助費の基準とされる世帯員の年齢階層に応じた第1類基準額と、世帯人数に応じた第2類基準額について、平成27年度までの3年間をかけて、年次通減の改定を行い、1類・2類の合計額が、旧基準の90%を下回らないよう演算の処理を施し激変緩和措置をする。
以上2件、原案のとおり可決しました。陳情1件は、引き続き審査していくこととなりました。

総務文教委員会

6月13日に委員会が開催され、3件の議案と3件の陳情を審査しました。3件の議案を原案のとおり可決し、1件の陳情を継続して審査することとし、2件の陳情を不採択にすることとなりました。主な内容は次のとおりです。

◎福生市新型インフルエンザ等対策本部条例

問 福生市地域防災計画における災害対策本部と、本条例における対策本部との違いは何か。

答 福生市地域防災計画における災害対策本部は福生市災害対策本部条例に規定されており、根拠法が災害対策基本法となっている。一方、本条例では、新型インフルエンザ等対策特別措置法が根拠法となっているのが違いである。

◎平成25年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 コミュニティ助成事業助成金による町会の会館建設は古いところから順に行うのか。

答 町会によって、資金などの状況が違うので、必ずしも古い順ということではない。

問 ふっさつ子未来会議はどのような内容か。

答 基礎学力の定着問題、不登校問題、健全育成問題など、子どもの教育に関する諸問題について、東京都の教育改革の動向も踏まえつつ、学識経験者の助言を得ながら、問題の現状認識から課題設定、そして子供への支援策の検討を行い、対応策の提案を行っていくこととするものである。

◎福生市営プールの指定管理者の指定について

問 指定管理にすることによる効果額は。

答 平成25年度は、消費税込みで1648万5千円、当初予算額としては1740万4千円で、差し引き91万9千円が効果額となる。



▲指定管理となった市営プール

◎行政手続条例と契約事務規則の関係説明を求める陳情書
意見 本件については、用語の解釈の問題であり、判例でも示されているの



議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め6回開催されました。
なお、陳情1件を審査し、不採択とすることとなりました。

で、議会で審査する問題ではないため、不採択としたい。
◎昭和39年最高裁判例の誤読と準備行為論の克服を求める請願書(本件は、紹介議員がいなかったため、福生市議会会議規則第144条の規定により、陳情書としての取り扱いとする。)

意見 この陳情の趣旨は、判例の誤読の是正、克服だと思っております。判決は司法の問題であり、地方議会では審査する問題ではないため、不採択としたい。
その他、陳情1件を継続して審査することとなりました。

市議会も応援しています→平成25年東京国体今秋開幕！

第68回国民体育大会がこの秋に開幕し、福生市ではソフトボール競技（成年女子）を開催します。女子ソフトボールと言えば、北京オリンピックで金メダルを獲得した競技であり、メダリストも都道府県の代表として、福生にやってきます。

女子ソフトボールの魅力は、スピードとパワーです。世界一の投手「上野由岐子」選手は、野球に換算すると約160キロを超えるスピードのボールを投げますが、それを打ちかえす男子顔負けのパワフルなバッティングも見逃せません！

世界一の選手たちが繰り広げる熱い戦いを球場へ観戦しに行きましょう！

なお、観戦は無料ですのでお気軽にお越しください。 問合せ 国体推進室 ☎042-551-1750



◀ソフトボールのバッティング

▼世界一の投手「上野由岐子」選手



第68回国民体育大会ソフトボール競技会(成年女子)

【会期】平成25年9月29日(日)～10月1日(火)
【会場】福生野球場・市営競技場

特別委員会活動から…

定住化対策特別委員会

福生市の人口は、現状のまま推移すると2040年（平成52年）には4万5303人（2010年11月5日9796人）となる推計数値が、本年3月、国立社会保障・人口問題研究所（厚生労働省）から発表されました。少子高齢化等により、全国的に人口の減少傾向が続いています。

また、同報告によると2040年には当市の高齢化率（65歳以上）は、36・6%（2010年11月5日20・5%）と予想され、3人に1人が65歳以上となり、一層高齢化が進むと予想されています。

人口減少は、街の衰退を招き、行政の運営が成り立たなくなる恐れがあります。人口減少を少しでも食い止めることが出来るかは、当市の喫緊な課題です。

市議会としても、このような状況を踏まえ、様々な角度から調査研究し、具体的な提言をするため、『定住化対策特別委員会』（委員9人）を設置しました。定住化対策を検討するための課題としては、教

育・子育て、住宅、雇用、情報等があり、調査研究する事項も多岐にわたっています。これらの課題を全て一時に検討することは困難であるため、テーマを絞り順次、検討することとしました。最初に調査・研究する課題として『住宅対策』を取り上げ、今定例会から検討を始めました。他の課題については、住宅対策が一定の結論を得た段階で、次のステップに進むことになると考えています。



▲定住化対策特別委員会の審議の様子

委員から、①人口予測推計数値の算出根拠等について、②現在、市が行っているまちづくり総合活性化事業の具体的な内容について、③市内の空家戸数の実態は、約4千戸といわれていたが、今回の調査結果で2232戸となつている調査方法について、④住宅マスタープランの改定の見直しについて等さまざまな質疑が行われました。

その後、委員会の今後の調査研究の進め方について協議し、次のように計画しました。①次回定例会の前までに、大学教授等有識者による勉強会を開催する（テーマは、人口減少の問題点と対策の視点について及び定住化に資する住宅施策についてとし、8月に開催の予定）②9月定例会では、定住化施策の対象者、期間等定住化の定義づけを行う、③12月定例会から具体的な調査研究のための検討を行うことになりました。

6月11日に委員会が開催されました。主な内容は次のとおりです。
1. 平成24年度防衛補助事業実施状況について
第8条の民生安定施設助成事業は市道幹線Ⅱ-19号線（加美立体通り）外1改良事業、福東緑地整備事業など計4件に約1億6千6百万円が交付され、第9条の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業では、消防団車庫改良事業、第三中学校通級指導学級設置事業、牛浜駅自由通路整備事業など計5件に約3億5千6百万円が交付されました。
2. 平成26年度防衛補助事業概要要望について
第8条補助事業として、玉川上水緑地日光橋公園等整備事業、消防ポンプ自動車更新事業など計3件の要望について報告がありました。

3. 横田基地周辺対策等要望事項（案）について
防衛省への要望事項案として、①横田基地に関する在日米軍の再編に係る対応について、②平成26年度防衛補助事業の要望について、③横田基地周辺対策及び基地交付金、調整交付金予算等の充実について、④横田基地の運用に伴う安全確保の徹底、⑤米空母艦載機による着陸訓練の全面中止について、⑥騒音防止対策の推進について、⑦在日米軍の事件・事故に関する確かな情報提供について、⑧基地の外における軍人等の法遵守、マナーの向上について、以上8項目（21の細目）の案について協議を行い、原案のとおり決定しました。また委員会として、全委員による防衛省並びに北関東防衛局への要請行動を8月2日に行うことを決定しました。

4. 横田基地に関する情報等について
3月は、危機管理演習（EME）、日米合同委員会の合意による航空自衛隊の横田飛行場の土地の一部共同使用について、4月は、米兵等による窃盗事件の再発防止を横田基地及び北関東防衛局へ要請したことなど、5月は、防空指揮群プログラムの管理隊の改編等、統合について、横田基地有志による「花いっぱい運動」ボランティア活動など、6月は、編隊飛行訓練、パラシュート降下等訓練について9件の報告がありました。

6月12日の第1回の委員会では、委員全員が共通の認識を持つため、①市の人口減少の現状と将来予測について、②まちづくり総合活性化事業について、③住宅マスタープランの評価と改定について、④空家実態調査についての4項目について理事者から説明を受け、

委員から、①人口予測推計数値の算出根拠等について、②現在、市が行っているまちづくり総合活性化事業の具体的な内容について、③市内の空家戸数の実態は、約4千戸といわれていたが、今回の調査結果で2232戸となつている調査方法について、④住宅マスタープランの改定の見直しについて等さまざまな質疑が行われました。

その後、委員会の今後の調査研究の進め方について協議し、次のように計画しました。①次回定例会の前までに、大学教授等有識者による勉強会を開催する（テーマは、人口減少の問題点と対策の視点について及び定住化に資する住宅施策についてとし、8月に開催の予定）②9月定例会では、定住化施策の対象者、期間等定住化の定義づけを行う、③12月定例会から具体的な調査研究のための検討を行うことになりました。

6月11日に委員会が開催されました。主な内容は次のとおりです。
1. 平成24年度防衛補助事業実施状況について
第8条の民生安定施設助成事業は市道幹線Ⅱ-19号線（加美立体通り）外1改良事業、福東緑地整備事業など計4件に約1億6千6百万円が交付され、第9条の特定防衛施設周辺整備調整交付金事業では、消防団車庫改良事業、第三中学校通級指導学級設置事業、牛浜駅自由通路整備事業など計5件に約3億5千6百万円が交付されました。

3. 横田基地周辺対策等要望事項（案）について
防衛省への要望事項案として、①横田基地に関する在日米軍の再編に係る対応について、②平成26年度防衛補助事業の要望について、③横田基地周辺対策及び基地交付金、調整交付金予算等の充実について、④横田基地の運用に伴う安全確保の徹底、⑤米空母艦載機による着陸訓練の全面中止について、⑥騒音防止対策の推進について、⑦在日米軍の事件・事故に関する確かな情報提供について、⑧基地の外における軍人等の法遵守、マナーの向上について、以上8項目（21の細目）の案について協議を行い、原案のとおり決定しました。また委員会として、全委員による防衛省並びに北関東防衛局への要請行動を8月2日に行うことを決定しました。

4. 横田基地に関する情報等について
3月は、危機管理演習（EME）、日米合同委員会の合意による航空自衛隊の横田飛行場の土地の一部共同使用について、4月は、米兵等による窃盗事件の再発防止を横田基地及び北関東防衛局へ要請したことなど、5月は、防空指揮群プログラムの管理隊の改編等、統合について、横田基地有志による「花いっぱい運動」ボランティア活動など、6月は、編隊飛行訓練、パラシュート降下等訓練について9件の報告がありました。

横田基地対策特別委員会

の徹底、⑤米空母艦載機による着陸訓練の全面中止について、⑥騒音防止対策の推進について、⑦在日米軍の事件・事故に関する確かな情報提供について、⑧基地の外における軍人等の法遵守、マナーの向上について、以上8項目（21の細目）の案について協議を行い、原案のとおり決定しました。また委員会として、全委員による防衛省並びに北関東防衛局への要請行動を8月2日に行うことを決定しました。

編集後記

議会の委員会構成が替わり新体制での最初の定例会が行われました。新特別委員会の「定住化対策特別委員会」もスタートしました。人口減少は福生市だけではありませんが、重く受け止めて対策を調査研究していこうとするものです。



また、福生市議会が陳情などの取り扱いに對して「切捨御免」だと決めた陳情書が出されたが、福生市議会では陳情は全て請願と同様に受け付け、委員会審査をして慎重に審議をしており、陳情者の言うような取り扱いはしていません。誤解も甚だしくとも残念なことです。こちらにつきましても真摯な審査を行い、法的な根拠も研究して結論を出しました。福生市議会では、あらゆる議題に對して真剣に議論をする土壌が出来ています。これは先輩議員から受け継ぐ他市に誇れる議会運営の一つだと思います。

これから議会改革に努め、より一層開かれた議会になるように研究を進めていきます。市民の皆様もどうぞ一度、本会議や委員会の傍聴においでいただきたいとお願いたします。